

アートと福祉で 賑々しい2日間



HOKKAIDO ART BRUT FORUM in IWAMIZAWA 2017 SEP. 9-10

Yuuya KAWAKAMI (Sola-chi No Kaze)

北海道 アート ネットワーク in 岩見沢2017

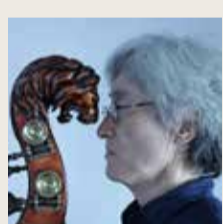
【参加無料】

主催:北海道アール・ブリュットネットワーク実行委員会、北海道医療大学
北海道アール・ブリュットネットワーク協議会、岩見沢市、
北海道教育大学岩見沢校
後援:北海道、北海道文化財団、岩見沢市教育委員会、岩見沢商工会議所、
岩見沢市中心市街地活性化協議会
※本事業は厚生労働省「介護のしごと魅力アップ推進事業」により実施されます。
北海道医療大学「介護のしごと魅力アップ推進事業」により実施されます。

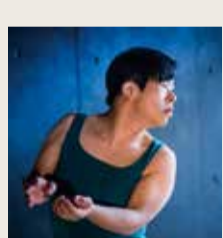
オープニングアクト



ジャン・サスポータス
<http://www.jsasportes.com/>
ダンサー、演出家、振付家、俳優。1979年Pina Bausch舞踊団ソロダンサー。96年独立。ペドロ・アルモドバル監督「トーク・トゥー・ハー」(アカデミー脚本賞)に出演、「世界で一番美しい顔の男」と評される。合気道から派生した「気の道」をマスターし日本文化全般に造詣が深い。



齋藤 徹
<http://travessiaart.com/>
国際的なコントラバス奏者、作曲家。舞踊、演劇、美術、映像の他、邦楽やクラシック、現代音楽など様々なジャンルとコラボ。韓国文化、アジアのシャーマニズム、ハンディキャップ表現者とも積極的に交流している。人と人、場所と場所、時と時を繋げる自主レーベル「Travessia」主宰。



矢萩 竜太郎
<http://izuruba.jp>
ダウン症の即興ダンサー。1990年、ヴォルフガング・シュタンゲのワークショップ参加をきっかけにダンスを開始。2010年ドイツで行われたジャン・サスポータス、齋藤徹主催のイベントに参加し好評を博す。2014年夏、「竜太郎10番勝負!」を開催し多くのアーティストと日独で共演。

photo by bozzo

ステージ・パフォーマンス



ひがし町パーカッションアンサンブル
<http://siaf.jp/projects/percupassion>
ひがし町パーカッションアンサンブルは、北海道浦河町にある浦河ひがし町診療所へ通う、障がいのある方たちを中心に結成された即興パフォーマンスグループ。日々を楽しみ、暮らしの中に多面的な価値を生み出すことをテーマに、即興演奏を通じて、健常者も障がい者も共に笑い表現できる自由な場作りと活動している。お互いを尊重しながら新しく音楽をつくっていく即興演奏は、誰もが簡単に参加でき、自分らしく振る舞うことができる。

コーディネーター
立花 泰彦 音楽家



※数多くの応募の中から札幌市外でありながら、「札幌国際芸術祭2017」参加プロジェクトに選ばれました。

ワークショップ



参加型クリエイティブ・ワークショップ
札幌市立大学 あそびlabオヘン
札幌市立大学デザイン学部生有志で「遊びをデザイン」する団体。2011年から活動開始。遊びづくり、遊び研究、遊びワークショップの開催などを行う。遊びワークショップは「キッズデザイン賞」を2年連続受賞している。東日本大震災の復興支援の一環として、福島でも開催した。好評のため15年「北海道アール・ブリュットフォーラム」(札幌)から3年連続出展となる。



ジャンさん体操
ジャン・サスポータス
ダンサー経験や、西洋のアレキサンダーテクニク、合気道が発展した形の「気の道」などを融合した独自の体操。ジャンさん体操では、リラックスした心と身体を通して、地から天へとエネルギーが通って行く感覚が身につく。日常的に身体を意識するようになる。

インクルーシブでオーライ
徹と竜太郎とみなさんと
音と体によるワークショップ。「ミラーニューロン」を使って「物真似」したり、いろいろな呼吸をしてみたり、声を出してみたり、リズムを感じてみたり。「音楽」というより、「音」そのものと身体を意識してみると、様々な発見がある。音と動きを感じながら感覚を開こう。

交流会 レストラン コロナのテラス
<http://www.manamiru.jp/corona/>
岩見沢市9条西4丁目 まなみーる市民会館内
9月9日(土) 17時30分より、ご登壇者様や作家の皆様との交流会を会場内のレストランで開催いたします。こちらもぜひご参加ください。参加費は4,000円程度を予定しています(当日お支払ください)。

参加申込書

参加希望 (✓印を)

- 9月9日(土)
 - No.1 オープニングアクト「おととからだ」
 - No.2 基調講演「日本のアール・ブリュットは世界でどう捉えられているか」
 - No.3 ダンス ハッピーフレンズ(岩見沢市)
 - No.4 パーカッションアンサンブル
 - No.5 トークセッション「浦河流の精神医療と文化芸術を聞いてみよう」
 - No.6 シンポジウム「岩見沢で国際芸術文化祭2019を!」
- 9月10日(日)
 - No.7 シンポジウム「アール・ブリュット～新しい芸術の未来」

※クリエイティブワークショップは随時・自由参加

当日参加も可能ですが、会場設営・交流会準備の参考とするため、事前申込にご協力ください。

お名前 _____ 住所 _____

連絡先 _____ TEL _____

ご所属 _____ E-mail _____

***申込先** 社会福祉法人ゆうゆう
TEL **0133-22-2896**
FAX **0133-23-0811**
eMAIL **yuyu.artbrut@gmail.com**

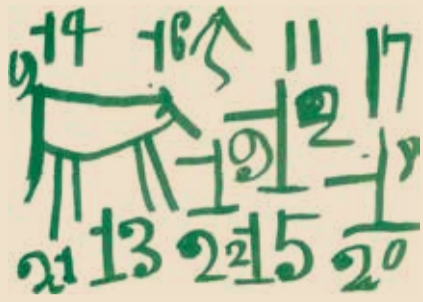
***対象** どなたでも参加いただけます。
特に障がい者の芸術活動を支援されている方、またはこれから支援に取り組もうとしている方。

***申込締切** 2017年8月31日(木)

***参加費** 無料
ご宿泊の幹旋等はできませんのでご了承ください。

***問合せ先** 北海道アールブリュット・ネットワーク協議会
《事務局》社会福祉法人ゆうゆう
〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70-18
TEL 0133-22-2896 FAX 0133-23-0811
eMAIL yuyu.artbrut@gmail.com

岩見沢から 社会の未来を 考えるフォーラム



伊藤友来 (南宗谷ひだまりの会)

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づき、障がいのある人のスポーツや文化活動に関する注目がますます高まっています。今秋、日本のアール・ブリュット作品や舞台芸術がフランス・ナント市に渡り、世界での注目が高まる中、「ただ表現する、自分の心のままに」と日々創作活動に取り組む作家達の作品は、だからこそどんな時代でも光を放つのもかもしれません。

広大な北海道がネットワークで結ばれ、多様な作家作品が紹介されていますが、福祉・医療・芸術の枠を超えて繋がる背景には、やはりアール・ブリュットの魅力があります。

アール・ブリュットを通して私たちの暮らす社会を見つめなおし、地域の未来を考える場としてこのフォーラムを企画しました。昨年度、アール・ブリュット作品の展示や音楽・スポーツといった多彩なプログラムで大きな反響を呼んだフォーラムを再び岩見沢の地で開催します。

全道各地のアール・ブリュット作品やナント市展覧作品を展示するとともに、社会の未来や地方創生を考えるシンポジウム、精神科医療の現場で作品を見続けている専門家によるトークセッション、ダンス体験ワークショップなど、各分野からのゲストを迎え、アート、福祉、社会の可能性を考えます。

みなさまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

※岩見沢市内で障がいの芸術活動支援に携わる方々が参加する実行委員会で事業を企画・運営いたします。

北海道 アール・ブリュット フォーラム

in 岩見沢2017

9.9sat-10sun

岩見沢市民会館「まなみーる」

特別ゲスト

シンポジウム 9月10日(日) 10:30~



青柳 正規氏

前文化庁長官
山梨県立美術館館長

1944年大連出身。67年東京大学文学部美術史学科卒。美術史学者、東京大学名誉教授。国立美術館理事長、国立西洋美術館館長、文化庁長官を歴任。77年「エウローパの舟の家」で地中海学会賞、91年「古代都市ローマ」でマルコ・ポーロ賞、浜田青陵賞。93年「皇帝たちの都ローマ」で毎日出版文化賞。2006年紫綬褒章。11年NHK放送文化賞。17年瑞宝重光章。著書に上記の他「古代都市ローマ」中央公論美術出版、「トリマルキオの饗宴」中公新書、「知識ゼロからの美術館入門」幻冬舎、「文化立国論」ちくま新書など多数。

9月9日 土

12:35

開会式 実行委員会

No.1

12:50 オープニングアクト
「おととからだ」

「音」は呼びかけ、「ダンス」は探す仕草、その2本の矢印が交わったときに生まれるものを共振・共感・共有しましょう。

dance
矢萩 竜太郎
ジャン・サスポータス
base
齋藤 徹

No.2

13:10 基調講演

日本のアール・ブリュットは世界でどう捉えられているか？
日本と世界のアール・ブリュット

渡邊 芳樹
元・在スウェーデン特命全権大使

No.3

14:05 ダンス
ハッピーフレンズ (岩見沢市)

知っていましたか。岩見沢にも障害者ダンスグループがあります。

No.4

14:15 演奏パフォーマンス

みんなで踊って笑おう！
多面的な価値を生み出し、ともに表現できる自由な場をつくる。障害者を中心に結成された即興パフォーマンスグループ

ひがし町パーカッションアンサンブル
浦河ひがし町診療所

No.5

14:40 トークセッション

浦河流の精神医療と文化芸術を聞いてみよう
精神障害者の新しい支援が生まれたみたいです。

川村 敏明 医療法人新水浦河ひがし町診療所院長・精神科医
高田 大志 同副院長・ソーシャルワーカー

No.6

15:45 シンポジウム
岩見沢で国際芸術文化祭2019を！
2017ナント・プロジェクトから考える。岩見沢は文化芸術都市となれるのか？

北岡 賢剛 社会福祉法人グロー理事長
松野 哲 岩見沢市長
三橋 純子 北海道教育大学教授
大原 裕介 北海道アールブリュットネットワーク協議会代表

No.7

15:00~17:00 ワークショップ

リハーサル室	多目的室
ジャンさん体操	みんなでクリエイティブワークショップ 来場者参加型の創作ワークショップ
ジャン・サスポータス	札幌市立大学 あそびlabオヘソ

No.8

17:30 交流会

レストラン
コロナのテラス
会場施設内

登壇者やアール・ブリュット作家と交流しよう

9月10日 日

No.9

10:30 シンポジウム

ジャパン×ナント・プロジェクトに
北海道の3作家が参加します！
「アール・ブリュット～新しい芸術の未来」

青柳 正規 前文化庁長官、山梨県立美術館館長
田端 一恵 社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部



河上優矢 (空知の風)

ジャパン×ナント・プロジェクトについて
2017年10月、文化芸術創造都市として世界をリードするフランス・ナント市において、日本のアール・ブリュット展や障害者による舞台芸術公演が、東京2020文化オリンピック公認プログラムの認証を受け、文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、ナント市の文化施設「フランス国立現代芸術センター リュ・ユニック」「ナント国際会議センター シテ・デ・コングレ」の主催により実施されます。ナント市の両館ディレクターから高い評価を受けた瑞宝太鼓をはじめ、日本の障害者の優れた文化芸術が、ナント市から世界に発信されます。

No.10

10:00~12:00 ワークショップ

リハーサル室	多目的室
インクルージブでオーライ	みんなでクリエイティブワークショップ 来場者参加型の創作ワークショップ
徹と竜太郎とみなさんと 齋藤徹、矢萩竜太郎	札幌市立大学 あそびlabオヘソ

基調講演 9月9日(土) 13:10~



渡邊 芳樹氏

元・在スウェーデン特命全権大使
元・社会保険庁長官

1953年岩見沢市出身。岩見沢東高～東京大学卒。75年厚生省入省。老人保健医療対策本部事務局を経て、84年外務省在スウェーデン大使館書記官。87年大臣官房総務課長補佐として厚生省復帰。大臣官房広報室長、保険局保険課長など歴任。95年内閣官房内閣審議官、児童家庭局家庭福祉課長、保険局総務課長、大臣官房審議官、社会保険庁長官等を経て、2010年在スウェーデン日本国特命全権大使。13年から国際医療福祉大学大学院教授。1989年と2013年スウェーデン王国「北極星勲章」受勲。



シンポジウム
9月9日(土)
15:45~

北岡 賢剛氏
社会福祉法人GLOW理事長

1958年福岡県出身。85年筑波大学大学院修了。94年障がい児者「24時間対応型在宅サービス」を全国に先駆けて実施。2007年滋賀県社会福祉事業団理事長に。04年ボーダレス・アートミュージアムNO-MA立上げ。10年「アール・ブリュット・ジャポネ展」事務局長。14年から現職。厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員。